

京都大学言語学研究

第 39 号

研究論文

Affricate series in Jintang Tibetan (Darmdo Municipality, Sichuan) Chunmei LI & Hiroyuki SUZUKI	1
総称的条件文の意味的・統語的分析	森 創摩 23
モーラン・カドゥー語音韻論の概要	藤原 敬介 47
二つの語用論的分業 —語彙的使役・生産的使役と能動・受動—.....	ルディ・トート 67
Serial verbs and monoclausality: A case study on Jinghpaw.....	Keita KURABE 93

研究ノート

アタヤル語群の「上り」と「下り」の起源	落合 いずみ 137
---------------------------	------------

書評

Jean-Claude Bouvier et Claude Martel. <i>La langue d'oc telle qu'on la parle: Atlas linguistique de la Provence</i> Forcalquier: Les Alpes de Lumière, 2016, xii+321pp.	鈴木 博之 149
--	-----------

2020

京都大学
大学院文学研究科
言語学研究室

Vol. XXXIX
2020

KYOTO
UNIVERSITY
LINGUISTIC
RESEARCH

published by

DEPARTMENT of LINGUISTICS, GRADUATE SCHOOL of LETTERS
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto University Linguistic Research Vol. 39

31.12.2020

Editor-in-chief	Sho YAMAOKA		
Assistant Editors	Yayun CHENG Dulini JAYASURIYA Takenori MURAKAMI Tero VATTUKUMPU	Aoi GEKA Hiroto KOBAYASHI Haruna OTANI	Takamasa IWASAKI So MIYAGAWA Mincheol SEO
Editorial Board	Adam CATT Masami ÔTAKE Takeshi YAMAMOTO	Norihiko HAYASHI Toshiyuki SADANOBU	Shuichiro NAKAO Syuntarô TIDA
Publisher	Department of Linguistics Graduate School of Letters, Kyoto University Yoshida-Honmachi, Sakyo-ku, Kyoto 606-8501 Japan TEL: +81-75-753-2827 https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/linguistics/lin-kulr/		
Printer	Nakanishi Printing Co. Ltd. 146 Nishioji-cho, Shimodachiuridori Ogawahigashiiru, Kamigyo-ku, Kyoto 602-8048 Japan		

『京都大学言語学研究』第 39 号

目次

研究論文

- Affricate series in Jintang Tibetan (Darmdo Municipality, Sichuan)
Chunmei LI, Hiroyuki SUZUKI 1
- 総称的条件文の意味的・統語的分析
森 創摩23
- モーラン・カドゥー語音韻論の概要
藤原 敬介47
- 二つの語用論的分業
—語彙的使役・生産的使役と能動・受動—
ルディ・トート67
- Serial verbs and monoclausality:
A case study on Jinghpaw
Keita KURABE93

研究ノート

- アタヤル語群の「上り」と「下り」の起源
落合 いずみ137

書評

- Jean-Claude Bouvier et Claude Martel.
La langue d'oc telle qu'on la parle : Atlas linguistique de la Provence
Forcalquier : Les Alpes de Lumière, 2016, xii+321pp.
鈴木 博之149
- 京都大学言語学懇話会 2020 年度発表要旨158
- 『京都大学言語学研究』第 40 号原稿募集163
- 執筆者紹介・編集後記165

『京都大学言語学研究』第40号原稿募集

投稿規定

- 掲載論文は京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) にて公開される。
- 同一著者 (共著を含む) は下記 A, B の種別からそれぞれ 1 件ずつ、合わせて 2 件まで同一号に投稿できる。
- 原稿は随時受け付けるが、編集の都合により掲載が次号に持ち越される場合がある。なお、年度内の出版に間に合う投稿時期の目安は、例年 9 月ごろまでである。
- 採否は編集委員会で決定し、2 か月以内に通知する。
- 執筆者には掲載号と論文の電子ファイルを進呈する。抜き刷りを希望する場合は自己負担となる。

投稿方法

- 投稿は電子メールにて受け取る。
- フォントの埋め込み処理をした PDF 形式のファイルを電子メールで提出。
- 下記の原稿データを原稿 (既定の様式に沿ったもの) とは別のファイルに記載し、電子メールに添付して提出する
 1. 題目 2. 英語題目 3. 執筆者名、ふりがな 4. 原稿種別 5. ページ数 (要旨は含めない)
 6. キーワード 7. 所属機関 8. 連絡先 (郵便番号、住所、電話・FAX 番号、e-mail アドレス)

執筆要綱

- 使用言語 基本的に日本語か英語で執筆することが望ましい。それ以外の言語に関しては、編集委員会に相談すること。母語以外の言語を使用する場合は、しかるべきネイティブスピーカーにあらかじめ見てもらい、執筆者は本文の可読性について責任をもつこと。
- 種別 A 研究論文 ー完成した研究論文
研究ノート ー研究の初期段階をまとめたもの
書評論文 ー他者の出版物に対し独自の考察・見解を述べた論文
言語資料 ー談話資料、語彙集など言語資料をまとめたもの
B 書評 ー他者の出版物を紹介・批評したもの
- 原稿の様式
 - サイズ A4 版用紙
 - 枚数 論文 30 枚、研究ノート・書評論文 20 枚、書評 10 枚、言語資料 30 枚迄とする。
 - 書式 『京都大学言語学研究』のホームページ (<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/linguistics/lin-kulr/>) 上に掲載されたスタイルファイル、或いは Word テンプレートを使用することが望ましい。書式については上記ファイルを参照のこと。
 - 図表 モノクロのみとする。
 - 要旨 論文タイトルの下に論文の執筆言語と同じ言語で書かれた要旨・キーワードを載せる。要旨の字数制限は日本語 400 字以内、英語 20 行以内とし、キーワードは 5 つまでとする。また、本文の後ろに執筆言語が日本語の場合は英語、その他の言語の場合は日本語で書かれた、A4 版用紙 1 頁以内の要旨・キーワードを書く。書評については要旨・キーワードは不要とする。

■ 氏名 投稿時は氏名を記入しないが、校正の際、担当者から記入の指示がある。

■ 書評タイトル指針

第 1 著者名・他の著者名『書名』版、出版地：出版社、発行年、ローマ数字頁数＋頁数

西田龍雄（著）『西夏文華嚴經 I』京都：京都大學文學部、1975、xii + 179 pp.

Yoshida, Kazuhiko: *The Hittite Mediopassive Endings in -ri* (Studies in Indo-European Language and Culture, New Series, Vol. 5). Berlin and New York: Walter de Gruyter, 1990, xi + 216 pp.

■ 参考文献指針

和文、欧文、その他言語の文献に分けてアルファベット順に並べる。

氏名を 2 通り以上併記する場合は、最初に記された氏名で並べる。

【雑誌論文】

第 1 著者名・他の著者名（発行年）「論文名」『雑誌名』巻数：頁数.

【論集などに所収の論文】

第 1 著者名・他の著者名（発行年）「論文名」編集者（編）『論文集名』頁数. 出版地：出版社.

【単行本】

第 1 著者名・他の著者名（発行年）『書名』（必要な場合は）版、（該当する場合は）シリーズのタイトルと巻号. 出版地：出版社.

【学位論文】

著者名（提出年）「論文名」学位論文の種類、大学名.

定延利之 (1998) 「言語表現に現れるスキヤニングの研究」博士論文, 京都大学.

曾布川寛・吉田豊編 (2011) 『ソグド人の美術と言語』京都：臨川書店.

田窪行則 (2005) 「中国語の否定：否定のスコープと焦点」『中国語学』252：61–71.

田窪行則・前川喜久雄・窪菌晴夫・本多清志・白井克彦・中川聖一 (1998) 『音声』, 岩波講座 言語の科学 2. 東京：岩波書店.

Catt, Adam (2014) The Derivational Histories of Avestan *aēsma-* ‘firewood’ and Vedic *idhmá-* ‘id.’ In Stephanie Jamison, H. Craig Melchert, and Brent Vine (eds.), *Proceedings of the 25th Annual UCLA Indo-European Conference*. Bremen: Hempen. 39–48.

Tida, Syuntarô (2006) A Grammar of the Dom Language. Doctoral dissertation, Kyoto University.

編集委員会連絡先

〒 606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科言語学研究室

電話・FAX：(075)753-2827 電子メール：kulr.editor@gmail.com

※ご不明な点はお問い合わせください。

執筆者紹介

落合 いずみ	北海道大学
Chunmei LI	四川民族学院
鈴木 博之	復旦大学
森 創摩	千葉工業大学非常勤講師／大東文化大学非常勤講師
藤原 敬介	京都大学
Keita KURABE	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
ルディ・トート	長崎大学

編集後記

『京都大学言語学研究』第 39 号は Covid-19 の蔓延という異例の状況下での編集を強いられました。そのなかでもたくさんのご投稿を賜り、無事発行に至りました。本誌の編集・発行に際しましてご尽力をいただいた皆様に篤く御礼申し上げます。フィールド調査を中心に研究活動が制限されるなかでも、編集作業が停滞しない限り論文を通した成果の公表はできる。そういった意味で、査読誌を運営することの重要性について改めて痛感させられた一年でした。どうか今後とも『京都大学言語学研究』にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

編集委員長

『京都大学言語学研究』 第39号

2020年12月31日発行

編集委員長	山岡 翔			
編集委員長補佐	岩崎 崇雅	大谷 青渚	外賀 葵	
	小林 浩斗	ジャヤスーリヤ・ドゥリニ	ソ・ミンチョル	
	鄭 雅云	宮川 創	村上 武則	
	ワットクンプ・テロ			
編集委員	大竹 昌巳	キャット・アダム	定延 利之	
	千田 俊太郎	仲尾 周一郎	林 範彦	
	山本 武史			(五十音順)
発行者	京都大学大学院文学研究科言語学研究室			
	〒606-8501 京都市左京区吉田本町			
	電話：(075)753-2827			
	https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/linguistics/lin-kulr/			
印刷	中西印刷株式会社			
	〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル西大路町 146			

Kyoto University Linguistic Research

Vol. 39

Articles

- LI Chunmei & SUZUKI Hiroyuki:
Affricate series in Jintang Tibetan (Darmdo Municipality, Sichuan) 1
- MORI Souma:
A Semantic and Syntactic Analysis of Generic Conditionals 23
- HUZIWARA Keisuke:
An overview of Molang Kadu phonology 47
- TOET Rudy:
Two Divisions of Pragmatic Labor:
Lexical vs. Productive Causatives and Actives vs. Passives 67
- KURABE Keita:
Serial verbs and monoclausality:
A case study on Jinghpaw 93

Notes

- OCHIAI Izumi:
The origins of “up” and “down” in Atayalic languages 137

Reviews

- SUZUKI Hiroyuki:
Jean-Claude Bouvier et Claude Martel.
La langue d’oc telle qu’on la parle: Atlas linguistique de la Provence
Forcalquier: Les Alpes de Lumière, 2016, xii+321pp. 149



2020

Department of Linguistics
Graduate School of Letters
Kyoto University